

# 2015年3月期 第3四半期 決算会見資料

2015年1月29日  
NECネットエスアイ株式会社  
(銘柄略称: NESIC 銘柄コード: 1973)

---

# I. 第3四半期 決算概要

## II. 通期業績見通し

# I. 第3四半期 決算概要

## II. 通期業績見通し

# 2015年3月期 3Q累計業績サマリー

## 増収増益を継続

(単位:億円)

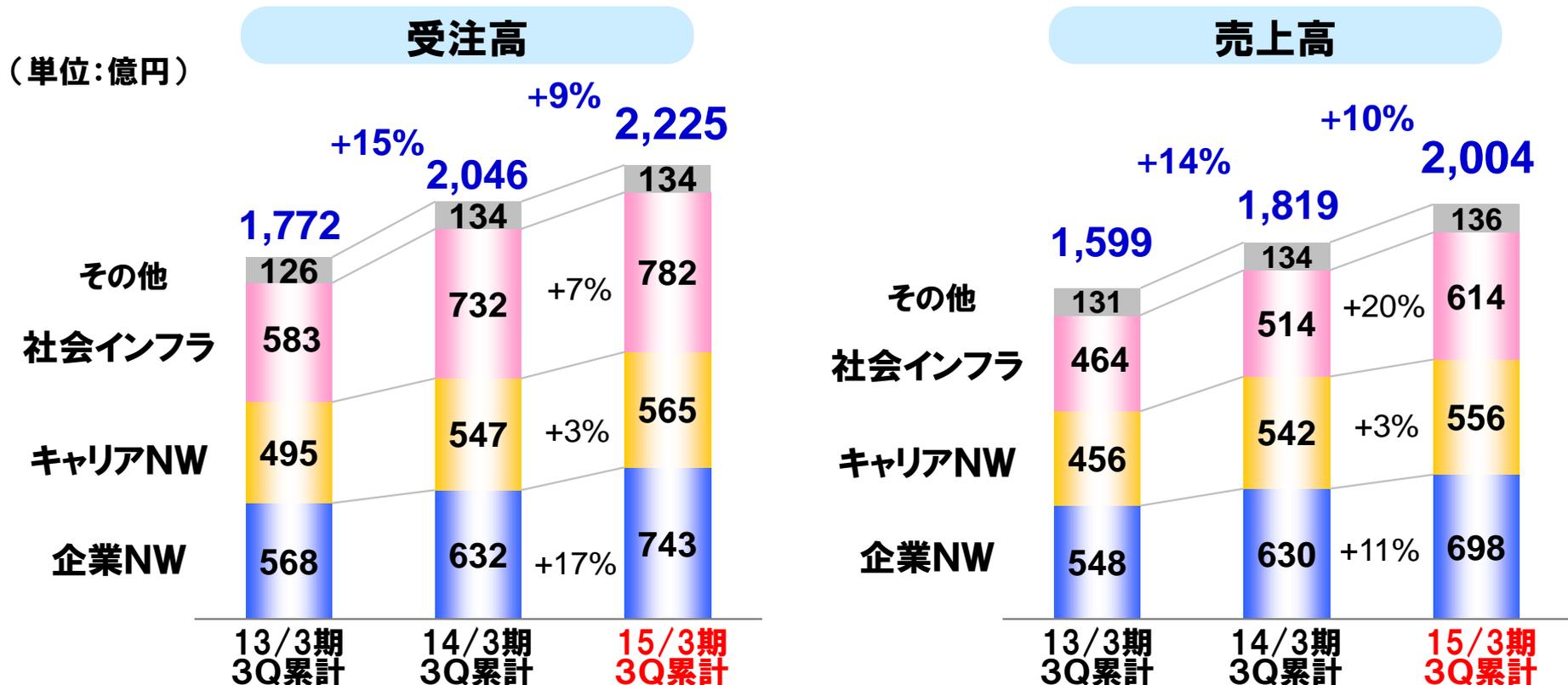
	3Q累計実績(4月～12月)		
	14/3期	15/3期	前年同期差/比
受注高	2,046	2,225	+9%
売上高	1,819	2,004	+10%
営業利益	77	84	+6
(営業利益率)	(4.3%)	(4.2%)	△0.1pt
四半期純利益	48	51	+3
(四半期純利益率)	(2.6%)	(2.6%)	0.0pt
フリー・キャッシュ・フロー	76	△9	△85

参考: 3Q実績(10月～12月)		
14/3期	15/3期	前年同期差/比
660	661	+0%
667	698	+5%
36	39	+3
(5.3%)	(5.6%)	+0.3pt
21	24	+3
(3.2%)	(3.5%)	+0.3pt
△70	△53	+17

# 2015年3月期 3Q累計 セグメント別受注高／売上高

## 企業NW、社会インフラが好調に推移し、 受注・売上ともに拡大

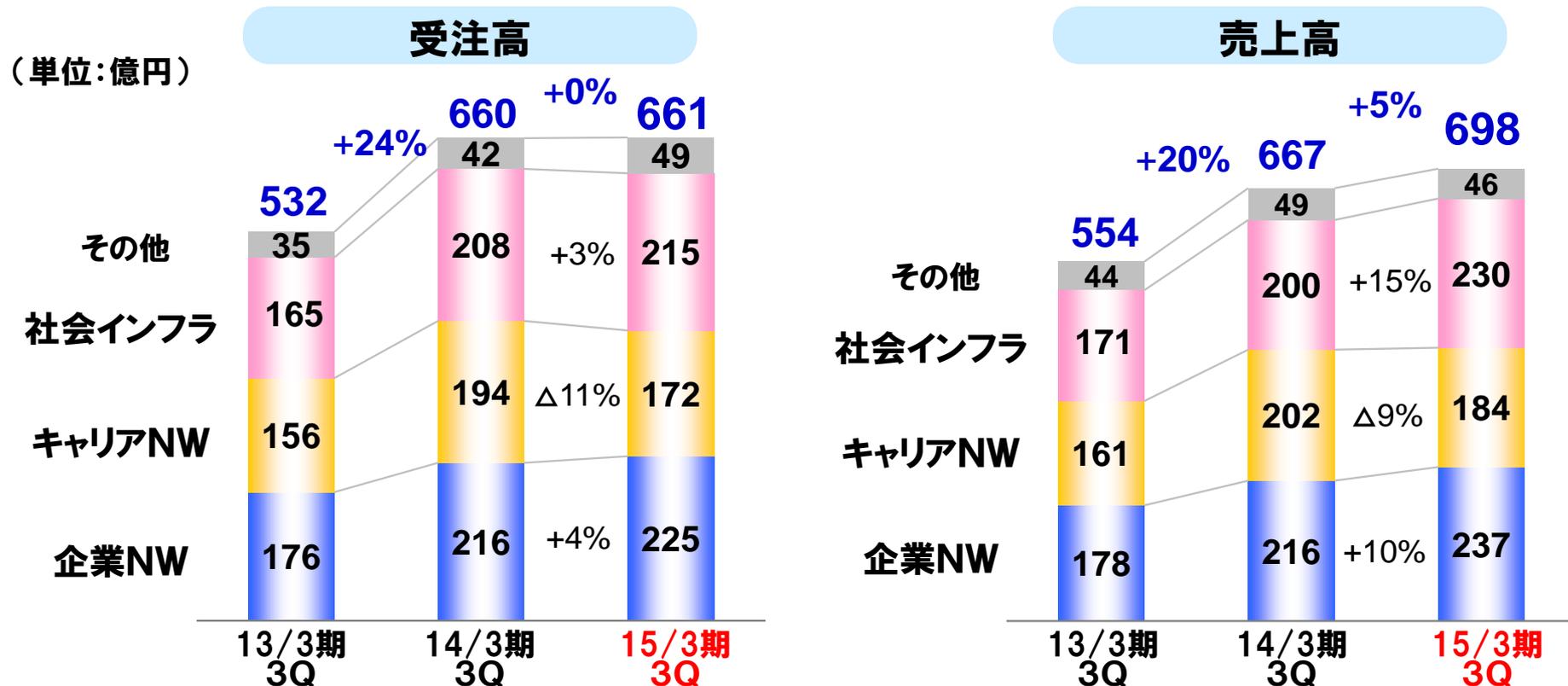
- ICT投資回復、消防・防災システム事業、前期M&Aの効果  
(約140億円)



# 【参考】2015年3月期 3Q セグメント別受注高／売上高

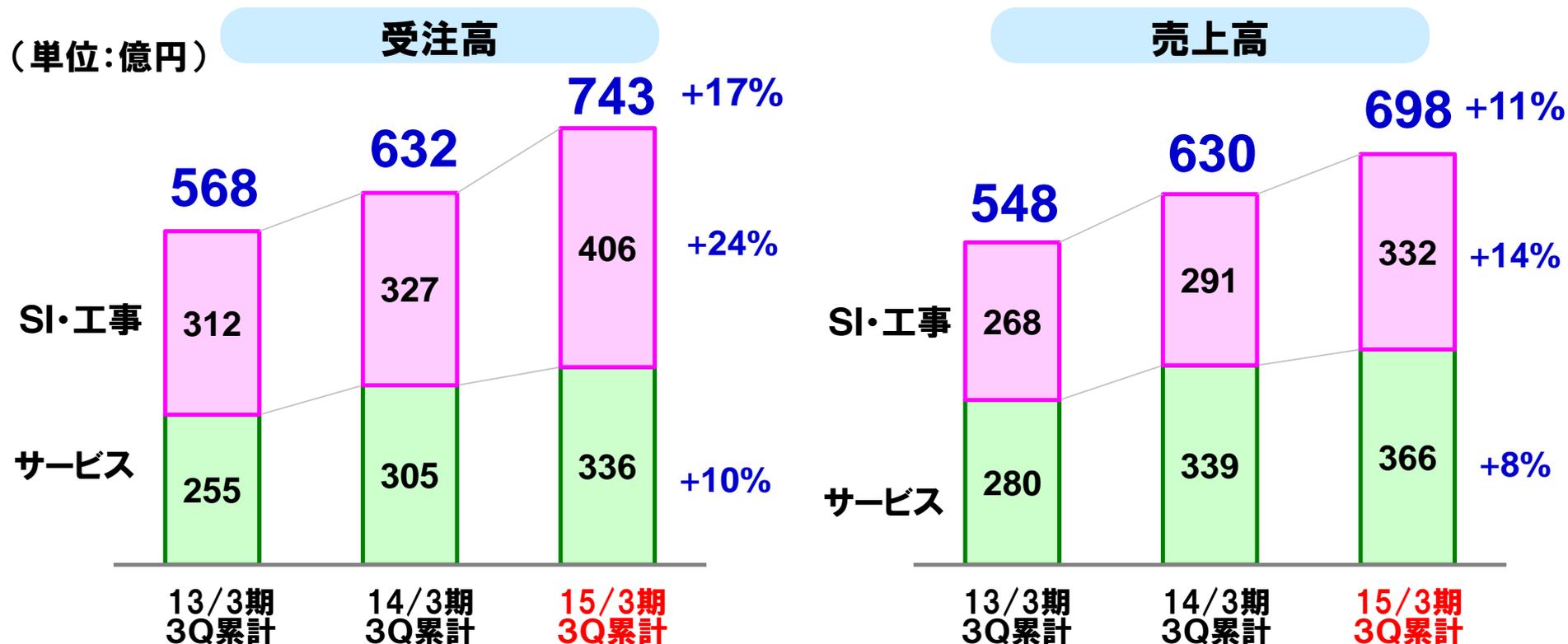
受注：通信事業者の設備投資減および消防デジタル化ピークアウトの影響あるも、企業NW本格化、海外大型案件によりカバー

売上：企業NWの拡大、消防デジタル化のPJ本格化により増収



## ICT投資の回復を捉え、受注、売上ともに 前年同期比2ケタ増加

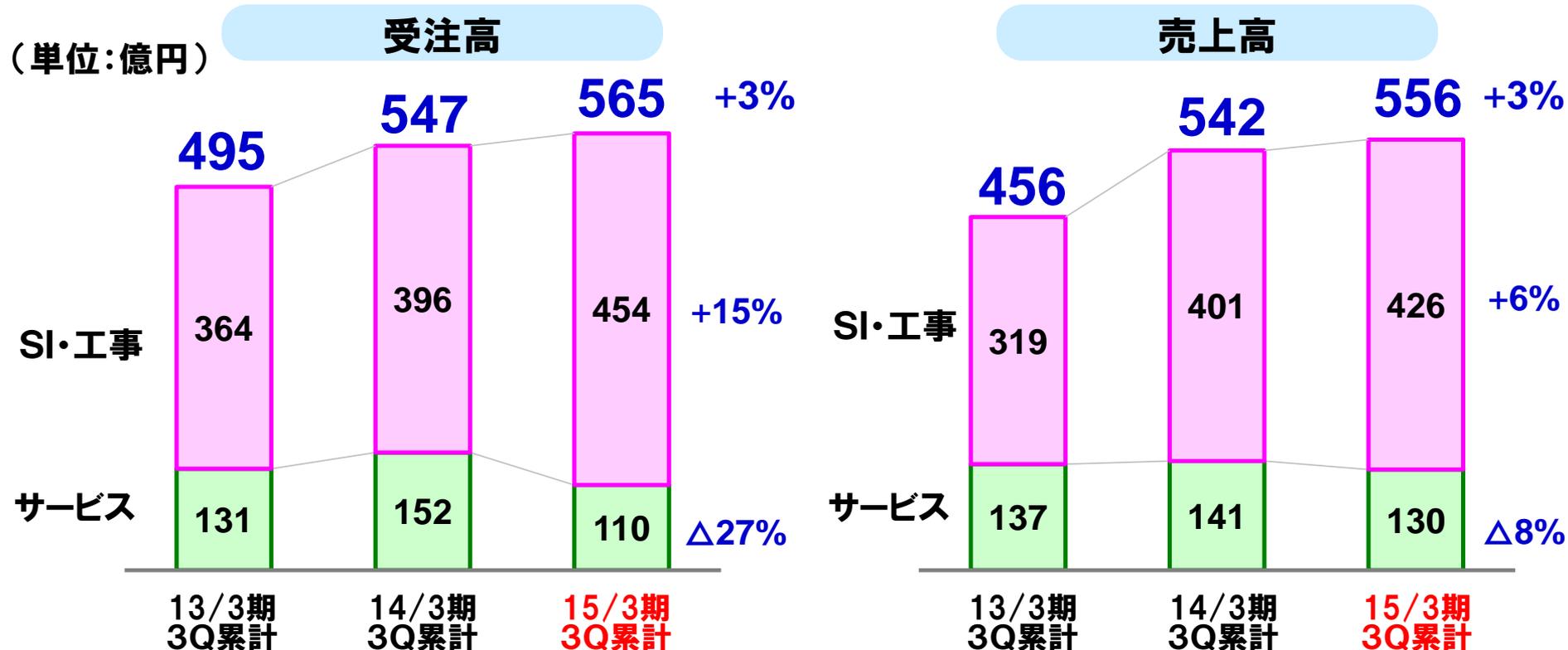
- キューアンドエー社(QAC)の連結効果(1Q) (受注・売上高: +約30億円)
- EmpoweredOffice事業は好調継続 (売上高: +15%) ※QAC含む



# 2015年3月期 3Q累計 キャリアネットワーク事業

通信事業者の設備投資減少の影響あるも、  
前年度M&Aの効果により、受注・売上が前年同期比増加

- NECマグナスコミュニケーションズ社の連結効果(受注・売上高: +約100億円)
- 移動体基地局事業は前年プラチナバンドの影響で減少 (売上高: △約30%)
- 長期保守案件の前年度一括計上の影響などでサービス事業の受注が大幅減

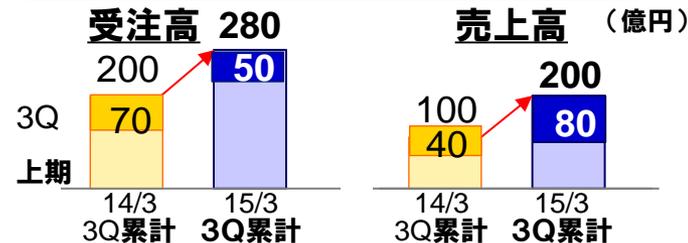


# 2015年3月期 3Q累計 社会インフラ事業

## 公共投資の増加を背景に受注・売上が前年同期比増

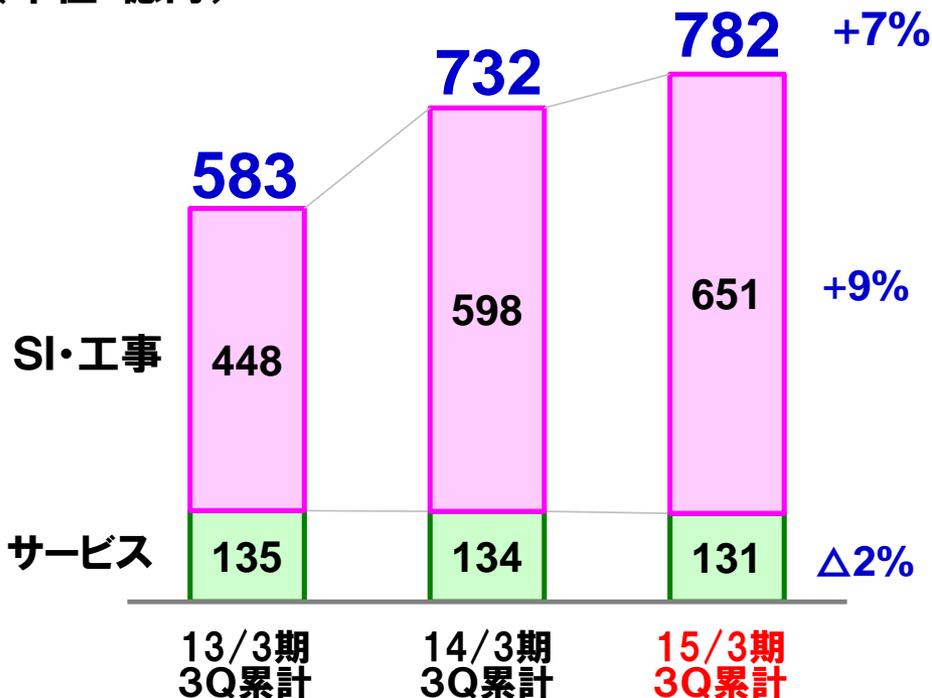
- 消防・防災システム事業における受注済み案件の工事が活況（受注は、下期に入りピークアウト）

### 消防・防災システム事業 3Q累計実績

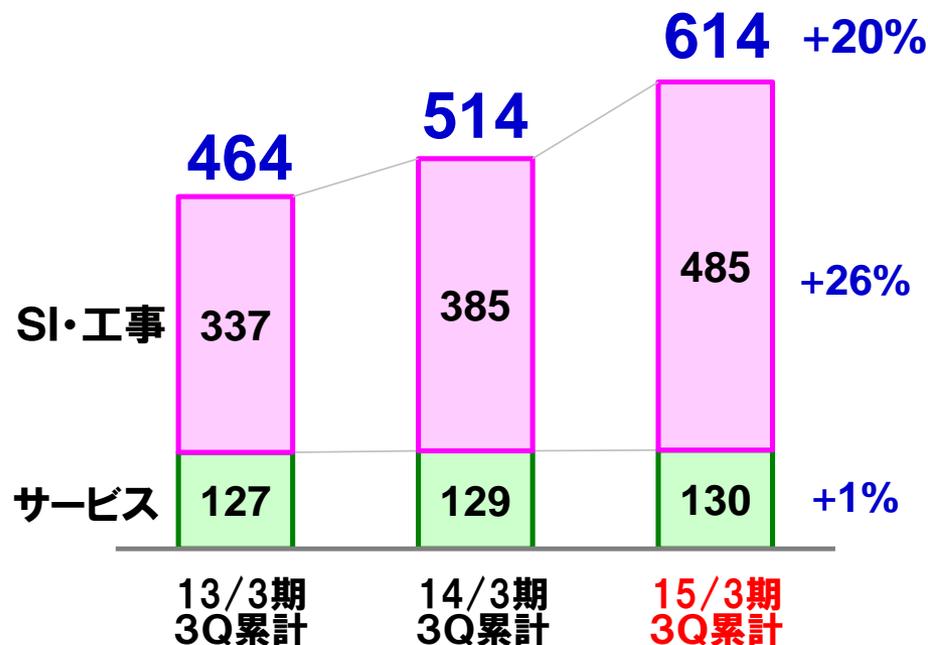


(単位:億円)

### 受注高

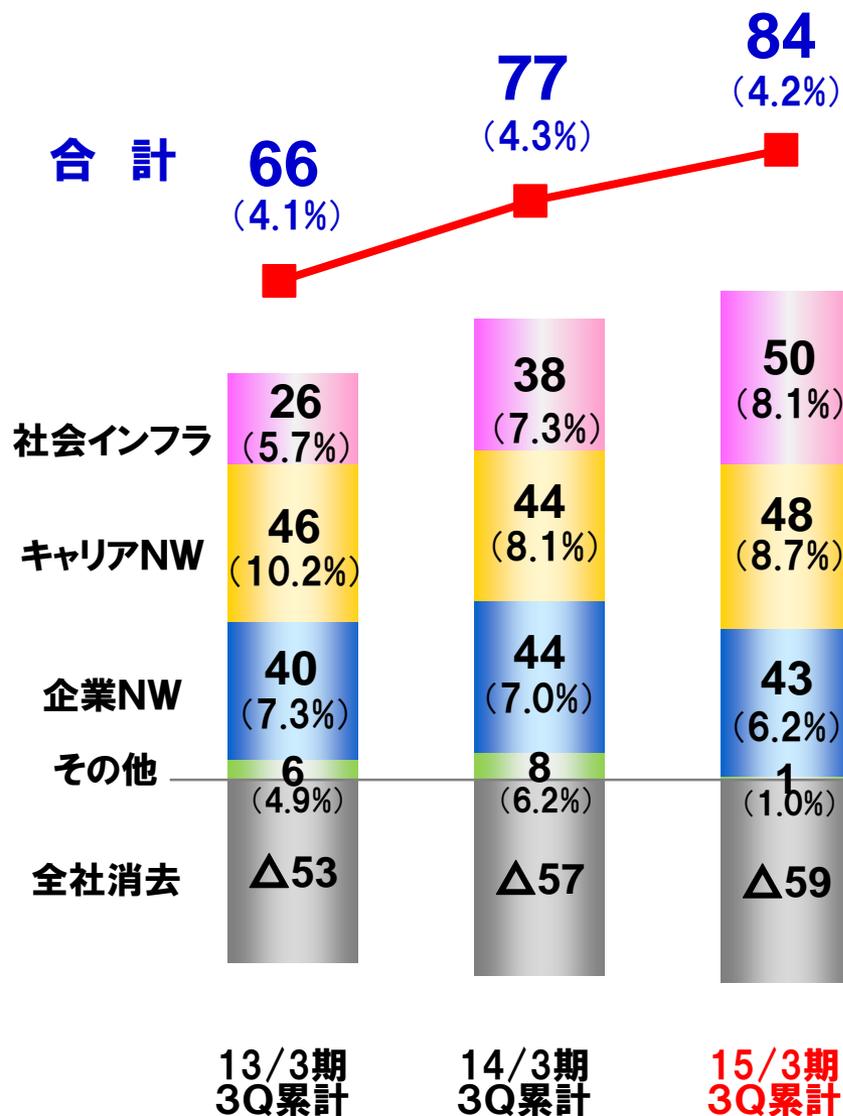


### 売上高



# 2015年3月期 3Q累計 セグメント別営業利益

(単位:億円)



## 売上増により増益

- 社会インフラ
  - ・売上増により増益
- キャリアネットワーク
  - ・原価率の改善に加え、NECマグナスが収益貢献
- 企業ネットワーク
  - ・売上ミックス変化(前年高採算案件、新規領域拡大によるコスト増)で収益性低下
- 連結子会社における前年特需の反動および開発費の増加により減益
- サービス基盤整備費用が増加

# 2015年3月期 3Q(14年12月末) バランスシート

稼働プロジェクト増加により、たな卸資産増加も、売掛金回収、買入債務返済により総資産を圧縮し、自己資本比率を1.8%改善

(単位:億円)

		14年3月末	14年12月末	増減
	現金及び現金同等物、有価証券	444	399	△46
	受取手形及び売掛金	960	884	△76
	たな卸資産	82	147	65
	その他流動資産	88	96	8
<b>流動資産合計</b>		<b>1,574</b>	<b>1,526</b>	<b>△48</b>
<b>固定資産合計</b>		<b>317</b>	<b>321</b>	<b>4</b>
<b>資産合計</b>		<b>1,891</b>	<b>1,847</b>	<b>△44</b>

	買入債務	432	391	△41
	借入金	64	61	△3
	その他負債	503	490	△13
<b>負債合計</b>		<b>999</b>	<b>942</b>	<b>△57</b>
	株主資本合計	912	920	8
	その他の包括利益累計額	△37	△32	5
	少数株主持分	17	17	0
<b>純資産合計</b>		<b>892</b>	<b>905</b>	<b>13</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>1,891</b>	<b>1,847</b>	<b>△44</b>

<b>自己資本比率</b>		<b>46.3%</b>	<b>48.1%</b>	<b>+1.8pt</b>
---------------	--	--------------	--------------	---------------

# 2015年3月期 3Q累計 キャッシュフロー

FCFは、入金タイミングの影響、社会インフラ案件(長工期)の増加により前年同期比減少

(単位:億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計
営業活動によるキャッシュフロー(A)	124	22
投資活動によるキャッシュフロー(B)	△ 47	△ 31
フリー・キャッシュ・フロー(A+B)	76	△ 9
財務活動によるキャッシュフロー	△ 33	△ 38

---

I. 第3四半期 決算概要

II. 通期業績見通し

# 2015年3月期 通期業績予想

## 通期業績予想に変更なし

(単位:億円)

	14/3期 実績	15/3期 予想値	前期差/比
受注高	2,801	2,950	+5%
売上高	2,703	2,850	+5%
営業利益	144	150	+6
(営業利益率)	(5.3%)	(5.3%)	+0.0pt
当期純利益	83	90	+7
(当期純利益率)	(3.1%)	(3.2%)	+0.1pt

※予想値は、2015年1月29日現在のものです。  
前回予想(2014年10月30日)から変更ありません。

# 明日のコミュニケーションをデザインする

nesic

検索



# 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

当社グループでは、マーケット別の事業体制の強化を進めており、一部事業体制の見直しを行ってまいりました。これを受け、当連結会計年度より、従来「社会インフラ」セグメントに含まれていた移動体基地局等の通信事業者向け工事業を「キャリアネットワーク」セグメントに含める等の報告セグメントの内容変更を行いました。

また13/3期、14/3期も、これに合わせた組替え値で表示しております。

# NEC

NEC ネットワークエスアイ株式会社  
NEC Networks & System Integration Corporation

[www.nesic.co.jp](http://www.nesic.co.jp)